

翔

百万石蝶談会 No. 149
April 2001



アサギマダラを求めて輪島市船倉島をおとすれる

2000年石川県のツマグロヒョウモン概要

石川県輪島市での1999年の蝶採集記録から

2000年石川県のツマグロヒョウモン記録



ツマグロヒョウモンの寄生率と蛹

2000年石川県のツマグロヒョウモン概要

松井 正人

近年の全国的規模に及ぶツマグロヒョウモンの分布拡大は、石川県では1998年から観察されている（松井、1999）。1998～1999年と大発生が続き、県内における観察地はこの2年で大きく広がった（松井、2000）が、2000年は予想に反して、観察地はほとんど広がらなかった。

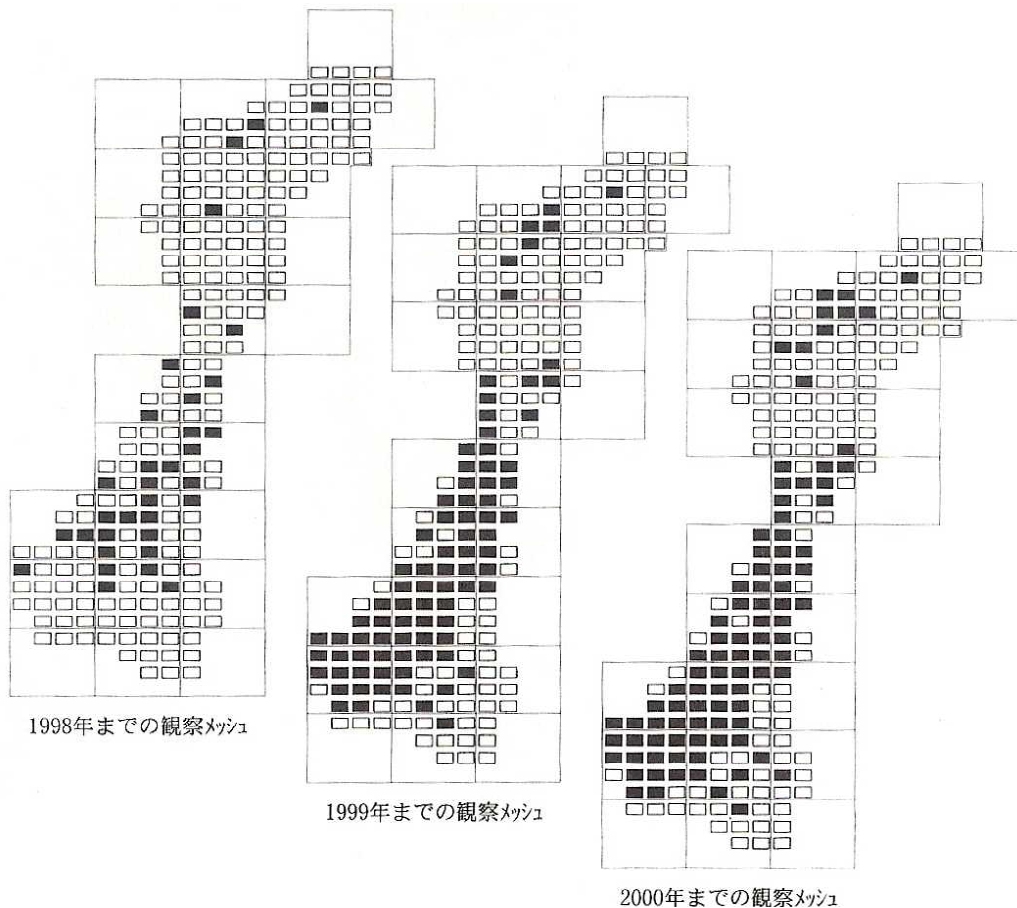
■観察地は広がらず

1999年には、白山地域を除く加賀地方でツマグロヒョウモンは普通に観察され、口能登から中能登へ向かうに従って少なくなり、中能登や奥能登では一部の地域でしか観察されなかった。その為、2000年は主に能登地方で調査を進めたところ、これまで観察されていた周囲に観察地が若干広がった程度で、大きな広がりは見られなかった。

表-1. ツマグロヒョウモンの観察メッシュ数 (5kmメッシュ)

	1988～1997年	1988～1998年	1988～1999年	1988～2000年
観察メッシュ	17	34	84	91
増加メッシュ		17	50	7

図-1. ツマグロヒョウモンの観察メッシュ (5kmメッシュ)



■2000年の観察経過

成虫の初観察は5月13日の加賀市塩屋海岸、最終観察は12月9日の鶴来町八幡であり、いずれも前年とほぼ同時期である。その間に観察された総数は508頭（観察記録中の多数は10頭として計算）で、1999年の1/3に減少したが1998年とほぼ同数だった。

図-2は、成虫の月別観察数の割合を比較したもので、3カ年とも10月の観察数が最も多くなっている。しかし、その割合は、1998年は55%、1999年は45%、2000年は37%と、徐々に低くなり著しい突出は見られなくなった。また、2000年の記録にはピークがふたつあり、8月の観察数が3カ年の中で最も多かったのに対し、9月の観察数が大きく減っている。9月の発生数が少なかったのか、調査の方法によるものなのかはわからない。

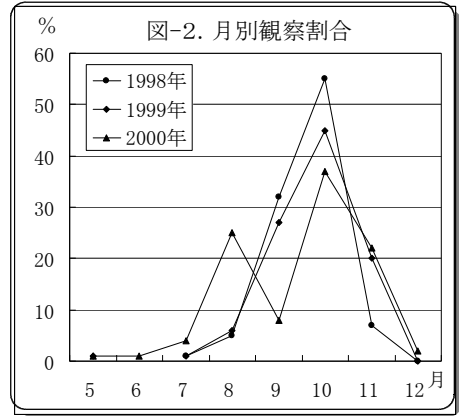


表-2. 月別観察頭数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1998年	0	1	3	25	160	276	36	0	501
1999年	15	4	18	86	406	681	310	2	1,522
2000年	7	3	21	127	43	188	111	8	508

■分布拡大は終わったのか

ツマグロヒョウモンの観察範囲は、1998年、1999年と急速に広がったが、2000年は観察範囲と観察時期はほぼ前年と同様だった。また、10月に集中していた観察数は、3カ年の間に徐々に各月に散らばった。また、調査方法によるものなのかも知れないが、観察総数は前年の1/3となり、ひとつだった観察数のピークは、2000年になってふたつ現れた。

爆発的な分布拡大を遂げた石川県内のツマグロヒョウモンは、2000年になって落ち着いたように思われる。これまでは、分布拡大の面から目が離せなかったが、これからは、この状態が維持されるのか、それとも更に分布が広がるのか、はたまた天敵や在来種の巻き返しが起こるのか、などの面から目が離せなくなった。

今回の調査においても、大勢の皆さんからご協力いただいた。お名前を上げてお礼申し上げる。

生田省悟、石畑正夫、井村正行、小幡英典、北川章夫、嵯峨井淳郎、嵯峨井裕子、指田春喜、澤田博、高坂俊之、富沢章、日吉宏朗、日吉南賀子、日吉芳朗、牧原悟郎、矢田新平の各氏。

《参考文献》

- 松井正人（1999）1998年石川県のツマグロヒョウモン概要。翔(136)：1-6。
 松井正人（2000）1999年石川県のツマグロヒョウモン概要。翔(143)：1-4。
 編集部（2001）2000年石川県のツマグロヒョウモン記録。翔(149)：10-12。

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

アサギマダラを求めて輪島市舳倉島をおとずれる

日吉芳朗

舳倉島がひょっとしたらアサギマダラ移動の中継点の一つではないかとの示唆を松井正人氏からいただいたのが、2000年10月3日のことである。この島でのアサギマダラの記録はこれまで8件、1♀採集8頭目撃とのことであるが、筆者はこれを高洲山や鉢伏山からたまたま飛来しただけのことで、移動と組み合わせて考えることはなかった。舳倉島がアサギマダラ移動の中継点と考えれば、筆者らのマーキングした蝶が再捕獲される可能性があるかも知れず、できるだけ早い時期に渡島しなければと思いはじめた。

10月7日、この日は快晴、無風のすばらしい天気であった。輪島港より定期船に乗り込んだものの、連休とはいえバードウォッチャーの多さにいささか度肝を抜かれた。舳倉島へは1995年9月19日以来であるから5年ぶりとなる。島に着き下船と同時に、筆者の持つネットをみた2人の男性バードウォッチャーがおっしゃるに「去年の秋、この島の海岸でツマグロキチョウを1頭見ました。ネットがなくて捕れなかったけど間違いありません。島にはケツメイがないのに」。本当にツマグロキチョウならたいへんなことである。島の山林（クロマツ林）に入ったところ、ここもバードウォッチャーで満員であった。その中の2人の女性が言われるには「今月3、4日にはアサギマダラがけっこうな数飛んでいましたよ。2～3匹よりはずっと多く、10～15匹となると多すぎますかね。数えなかったものですか。しかし昨日と今日は1匹も見ておりません」。確かにこの日、到着から帰途までの約4時間半、ろくに食事もせずに島中を歩き回ったが、1頭のアサギマダラにもお目にかかれなかった。とは言えかなりの数のアサギマダラがこの島へ移動していることは間違いのないようで、今後の調査に大きな希望を抱かせるものであった。

当日、目撃・採集した蝶であるが、ヤマトシジミがほぼ島全体にわたってきわめて多数見られ、そのほとんどが♂であった。またヒメアカタテハ、イチモンジセセリも多数見られ、他にもモンキチョウが数頭、モンシロチョウ、ルリタテハが各々2頭であった。ここでのルリタテハは初記録と思われる。すでに記録のあるアカタテハ、キタテハ、ルリシジミは1頭も目撃できなかった。採集種を以下に記す。

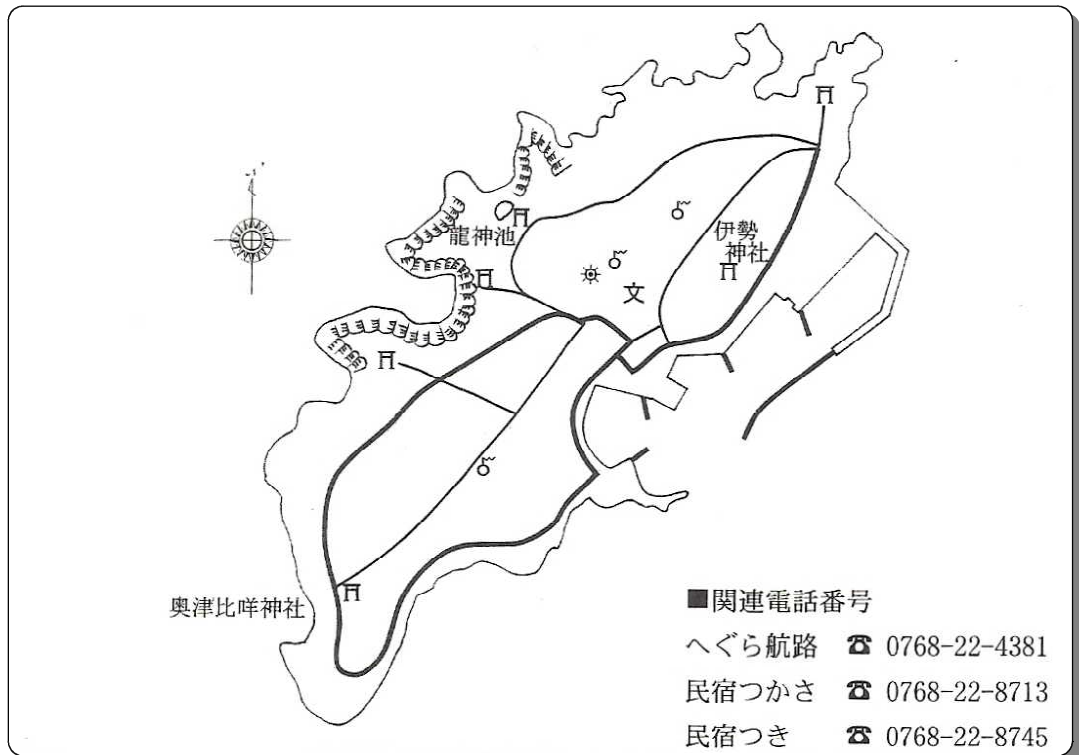
■2000年10月7日 石川県輪島市舳倉島 日吉芳朗 採集

イチモンジセセリ	7♂1♀	モンキチョウ	黄色型1♀白色型1♀
ヒメアカタテハ	2♂1♀	モンシロチョウ	1♀
ルリタテハ	1♂	ヤマトシジミ	7♂1♀

ルリタテハは新鮮な個体で海岸の道路わきを飛び回っていたものである。また輪島市立上野台中学校舳倉島分校の運動場のそばでも1頭を目撃した。採集したものは鮮度から見てこの地で発生したように思われる（食草のサルトリイバラも認められる）。

帰宅後、明年以降の島でのアサギマダラの調査方法について思いをめぐらした。筆者自身が定期的に渡島することはもちろんであるが、島に在住している方々に協力をお願いすることを考えついた。知己の分校の先生、海女さん、夏期になるとあわび採りに島へ渡る輪島高校定時制の生徒諸君らである。具体的には目撃記録をとっていただくことを基本に、できれば採集やマーキングもお願いする。また筆者が渡島するにしても飛来の状況を知らせていただければ好都合であろう。こうしたことをも含めて明年へ向けての準備に取りかかっている。

舳倉島は輪島市の沖合い約50kmに位置し、北東—南西方向に長径を持つ楕円形の孤島である。その長径は約1.5km、短径は約0.5km、最も高いところで海拔約12mしかない。周囲は約4kmのため徒歩でほぼ1時間で1周できる。北西海岸は断崖であるものの、他は比較的平坦で南東海岸には民家が並ぶ。中央部はメダケ、ススキを優勢種とする草原で、海岸部はハマヒルガオ、ハマエンドウなどの海浜植物が生育する砂利浜である。夏期と冬期で住民の数は大きく変動するが、無人となることはない。島全体は対馬暖流の中にあるため、冬期と春期の初めの季節風期を除けばおだやかで、雪は降っても積雪は希である。輪島港とへぐら島港の間には定期船「ニューへぐら」が就航しており、毎日1往復（9：00輪島出港、15：00舳倉島出港）、片道所要時間1時間30分、往復船賃3,800円である。



《参考文献》

- 石川野鳥の会（1979）舳倉島の鳥：2－3．日本野鳥の会石川支部。
 石川県環境部（1986）舳倉島・七つ島の自然：1，61．石川県。

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

石川県輪島市での1999年の蝶採集記録から

日吉芳朗・日吉南賀子

■エゾミドリシジミとオオミドリシジミ

1997、1998年の両年に林道鉢伏山線の鉢伏山登山口より2.7~2.9kmの地点で、エゾミドリシジミを、また1998年には2.5kmの地点でオオミドリシジミを採集したことを報告しておいたが(日吉芳朗, 1997、日吉芳朗, 2000b)、1999年も同一地点で両種を採集することができた。この2地点はかなり接近しているにもかかわらず、またほぼ同時刻に飛び回っているのが観察されたものの、これまで両種が混飛しているのを見ていない。さらに他のゼフィルスも確認していない。なお両地点は、輪島市と鳳至郡柳田村が複雑に入り組んでいる地域にあるが、地図を詳細に検討した結果、前者は輪島市に後者は柳田村に属することが判明した。そのため日吉芳朗(2000b)で後者を輪島市と記したことを、おわびして訂正する。

◆エゾミドリシジミ：輪島市深見(5636-07-59)

1999年7月2日 2♀ 日吉南賀子、1999年7月8日 2♀ 日吉芳朗

◆オオミドリシジミ：鳳至郡柳田村北河内(5636-07-59)

1999年7月2日 3♂ 日吉芳朗、1999年7月8日 1♀ 日吉芳朗

これらの地点以外で筆者らが本年に採集したゼフィルスは、以下の2頭のみである。

◆エゾミドリシジミ

1999年7月27日 輪島市宝立山(5637-11-03) 1♀ 日吉宏朗

◆オオミドリシジミ

1999年7月17日 輪島市鉢伏山(5626-07-37) 1♀ 日吉芳朗

エゾミドリシジミは、宝立山において筆者らが採集した最初のゼフィルスで、頂上付近の三叉路より吉ヶ町へ下る0.23kmのミズナラの葉上に静止していたものである。オオミドリシジミは、鉢伏山登山口より柳田方面へ向かって1.15kmの、やはりミズナラの葉上に静止していたものである。

■エゾスジグロシロチョウ

1998年、輪島市のかなり広い範囲に生息していたことを報告しておいたが(日吉芳朗, 2000b)、採集したものはいずれも夏型であったため、1999年は主に春型に注意を払った。また調査地点も新たにいくつかを加えたところ、とくに小池町と上山町にかなりの数が見られ、スジグロシロチョウと混飛していることがわかった。

1999年4月17日 輪島市高洲山(5636-07-75) 1♂ 1♀ 日吉芳朗

1999年4月20日 輪島市上山(5636-06-15) 3♂ 日吉芳朗

1999年4月22日 輪島市小池(5636-06-67) 3♂ 日吉芳朗

1999年5月2日 輪島市寺山寺山(5637-11-00) 2♂ 日吉芳朗

また夏型は、6月25日、気勝山に隣接する八幡山(302m)のそばを通る林道八幡山線の道路沿いで多数採集・目撃することができた。このときはスジグロシロチョウが見られなかったため、今後の調査課題と考えている。

1999年6月25日 輪島市八幡山(5636-07-11) 3♂1♀6頭目撃 日吉芳朗・日吉南賀子

■ ヤマキマダラヒカゲとサトキマダラヒカゲ

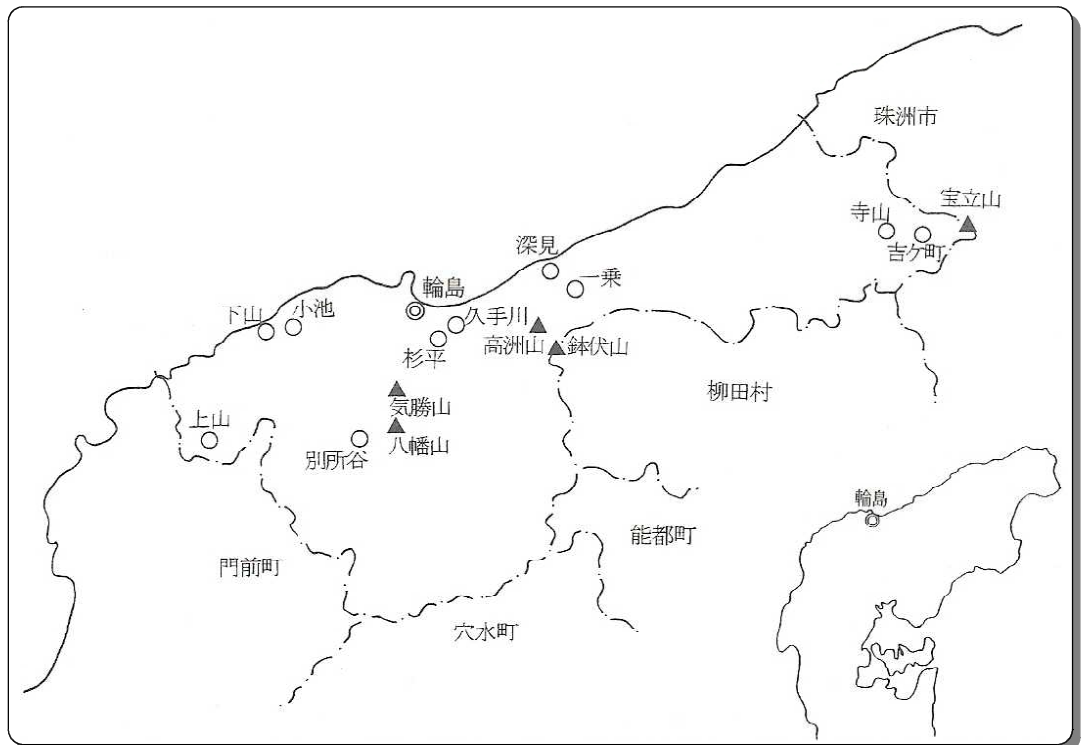
白水隆監修(1978)によると両者はしばしば混生しているとあるが、輪島市ではこれまでそのような地域に出会うことがなかった(日吉芳朗, 1997)。ところが1999年、河井町の市街地に隣接する一本松公園より、地図上の直線距離で約0.6kmの位置にある杉平町円山地内で、両者をほぼ同時に採集した。この地点は数本のクヌギの大木がある薄暗いスギ林で、かつては市内の子供たちにクワガタの採集地として知られていた。

◆輪島市杉平円山(5636-07-63)

ヤマキマダラヒカゲ：1999年8月12日 1♂ 日吉芳朗、1999年8月16日 1♂ 日吉芳朗
1999年8月24日 1♂ 日吉芳朗

サトキマダラヒカゲ：1999年8月13日 2♂1♀ 日吉芳朗、1999年8月24日 1♂ 日吉宏朗

なお同地点にはヒメジャノメ、クロヒカゲも多数見られ、8月12日にはクヌギの樹液を吸汁中のスミナガシ1♀を採集したが、このような低地(標高50m)での記録ははじめてである。



■ウスバシロチョウ

輪島市のウスバシロチョウの生息地は鳳至郡門前町に隣接する地域にはほぼ限られているようである。松井正人氏は1988年と89年のいずれも5月に、西二又町、小町、上黒川町、別所谷町大久保（二俣大久保は別所谷町大久保の誤り）、滝又町、空熊町で目撃または採集された（松井正人, 1988、松井正人, 1989）。ところが筆者らは1998年5月に上山町で多数生息していることを確認したものの（日吉芳朗, 1998）、その前後を含めて他の地域では目撃することさえなかった。

そうした中で、1999年5月になりようやく別所谷町大久保の2地点（林道北谷線入口より1.40kmと1.90km）で計10頭を採集・目撃することができた。しかし他の地域では依然見られない。

◆輪島市別所谷大久保(5636-07-10)

1999年5月14日 1頭目撃 日吉南賀子、1999年5月16日 3♂1頭目撃 日吉南賀子
 1999年5月20日 1頭目撃 日吉南賀子、1999年5月26日 3頭目撃 日吉芳朗
 1999年5月29日 1頭目撃 日吉芳朗

■ミヤマカラスアゲハ

輪島市では、カラスアゲハは山地では普通に見られるものの、ミヤマカラスアゲハはなぜかほとんどその姿を見せない。筆者らが1995年からの5年間に採集し標本とした頭数を合計しても、カラスアゲハ16頭に対してミヤマカラスアゲハは6頭にすぎない。しかもそのうちの4頭が1999年に高洲山の比較的低地（標高130mと250m）で採集されたものである。

1999年5月17日 輪島市高洲山(5636-07-75) 2♂ 日吉芳朗
 1999年9月3日 輪島市高洲山(5636-07-65) 1♂1♀ 日吉芳朗

■キタテハ

キタテハはヒオドシチョウとともに相変わらず少なく、本年は以下の目撃記録のみである。

1999年6月28日 輪島市下山(5636-06-66) 2頭目撃 日吉南賀子
 1999年10月8日 輪島市深見一乗(5636-07-78) 1頭目撃 日吉芳朗

■宝立山での記録から

1998年に宝立山で採集、目撃した蝶は34種（日吉芳朗, 2000b）であったが、1999年は新たに8種を加えることができ、計42種となった。上記のエゾミドリシジミおよび、日吉芳朗・日吉南賀子（2000b）で記したミヤマセセリとホソバセセリの他に以下の種がある。

◆輪島市宝立山(5637-11-03)

1) ヒオドシチョウ	1999年6月26日	2頭目撃	日吉南賀子
2) クロアゲハ	1999年6月26日	1頭目撃	日吉芳朗
3) エブスジグロシロチョウ	1999年7月24日	3♂	日吉芳朗・日吉南賀子
4) ジャノメチョウ	1999年8月1日	1♂	日吉芳朗
5) ヤマキマダラヒカゲ	1999年8月21日	1♀	日吉南賀子

ヒオドシチョウは、1999年6月26日に宝立山の珠洲市側(5637-11-13)で、日吉南賀子が2♂を採集している。

■おわりに

1999年、輪島市で採集・目撃したアサギマダラ、ツマグロヒョウモン、ミヤマセセリとホソバセセリについては別に記した(日吉芳朗, 2000a、日吉芳朗・日吉南賀子, 2000a、日吉芳朗・日吉南賀子, 2000b)。日吉芳朗(1997)には、近年見られなくなった蝶として7種をあげておいたが、このうちジャコウアゲハ、オナガアゲハ、スジボソヤマキチョウ、オオムラサキは依然としてその姿を筆者らの前にあらわしていない。

またコムラサキ(黒色型)は、1955~60年頃、輪島川河畔など旧輪島町一円にあれば多数見られたにもかかわらず、1995年以降では、1998年に久手川町の山中で目撃しただけである。その最大の原因は河川改修などにもなう無策なヤナギの伐採と思われる。筆者らはこのことを現在の自然破壊を象徴する現象のひとつととらえ、愁うべきことと考えている。

◆コムラサキ(黒色型)

1998年7月31日 輪島市久手川(5636-07-44) 1♂目撃 日吉芳朗

《参考文献》

- 白水隆監修(1978) 原色日本昆虫生態図鑑 Ⅲ チョウ編: 100. 保育社.
 日吉芳朗(1997) 輪島市での近年の蝶採集記録から. アカハネムシ(25): 1-3.
 日吉芳朗(1998) 輪島市のウスバシロチョウ. アカハネムシ(27): 3-5.
 日吉芳朗(2000a) 輪島市におけるアサギマダラの今昔. 翔(142): 1-3.
 日吉芳朗(2000b) 輪島市での1998年の蝶採集記録から. アカハネムシ(31): 1-5.
 日吉芳朗・日吉南賀子(2000a) 1999年の輪島市でのツマグロヒョウモン. 翔(143): 11-13.
 日吉芳朗・日吉南賀子(2000b) 輪島市でのミヤマセセリとホソバセセリ. 翔(144): 2-4.
 松井正人(1988) 奥能登のウスバシロチョウ. 翔(71): 4.
 松井正人(1989) 奥能登のウスバシロチョウ(その2). 翔(78): 2.

(ひよしよしろう・ひよしながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1)

ツマグロヒョウモンの寄生率と蛹期

矢田新平

庭の園芸用スマレでツマグロヒョウモンの幼虫を発見した。幼虫が終齢に成るのを待つて順次採集し、室内で蛹化させ羽化を待ち、蛹の期間と寄生の有無を調べた。幼虫を採集した場所は、石川県小松市上小松で、羽化した個体は同地で放蝶した。

ツマグロヒョウモンの蛹化日と羽化日

個体	蛹化日	羽化日	蛹期	個体	蛹化日	羽化日	蛹期
♂	2000年9月8日	9月16日	8日	♂	2000年10月3日	10月11日	8日
♂	2000年9月10日	9月18日	8日	♂	2000年10月3日	10月12日	9日
♀	2000年9月10日	9月18日	8日	♀	2000年10月4日	10月16日	12日
♀	2000年9月12日	9月20日	8日	♀	2000年10月5日	10月18日	13日
				♀	2000年10月14日	羽化せず	

10月14日に蛹化した個体は、いつになっても羽化せず、2001年1月16日に調べたところミイラになっていた。ルーペでじっくり観察すると、小さくてきれいな羽が出来ていて、はっきりと♀と判かった。この蛹には、寄生虫はいなかったようだ。

9月に4頭、10月に5頭と、野外から終齢幼虫を採集し、寄生の有無と蛹の期間を調べたところ、寄生された個体は無く、蛹期は9月で8日間、10月で8日～13日間だった。

《やた しんぺい 〒923-0802 小松市上小松町丙192-8》

白峰村三ツ谷で白化したキベリタテハを採集

嵯峨井淳郎

1999年9月10日12時50分頃、白峰村三ツ谷にて白化したキベリタテハ1♀を採集したので報告する。通常、越冬した本種を春～初夏に書けて採集捕獲した場合、前後翅表面の外縁が薄汚れて白っぽくなった成虫を採集する事があるが、9月中旬に完全品かつ新成虫と思われる白化個体が採集される事は珍しいと思われる。

1999年9月10日 石川県石川郡白峰村三ツ谷 1♀採集 嵯峨井淳郎

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

2000年石川県のツマグロヒョウモン記録

(採集、目撃の記述の無いものは採集を示す)

記録年月日	記録場所	記録数	記録者
2000年 5月13日	加賀市塩屋海岸	2♂3♀2卵目撃	松井正人
2000年 5月17日	能美郡辰口町長滝	1♂	牧原悟郎
2000年 5月29日	小松市那谷	1♂目撃	富沢 章
2000年 6月 7日	小松市若杉	2♀目撃	富沢 章
2000年 6月18日	加賀市塩屋海岸	1♂目撃	松井正人
2000年 7月 1日	鹿島郡鹿島町石動山	1♀目撃	松井正人
2000年 7月 6日	輪島市鉢伏山	1♀目撃	石畑正夫
2000年 7月 9日	石川郡白峰村大杉谷	1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 7月 9日	石川郡白峰村大杉谷	1♀目撃	矢田新平
2000年 7月 9日	石川郡白峰村白峰スキー場	1♀目撃	松井正人
2000年 7月 9日	石川郡白峰村百合谷	1♀目撃	松井正人
2000年 7月 9日	輪島市河井町	1♀目撃	日吉芳朗
2000年 7月15日	金沢市菊水	1♀目撃	生田省悟
2000年 7月17日	小松市上大杉	2♂目撃	矢田新平
2000年 7月22日	羽咋郡押水町宝達山	1♂目撃	松井正人
2000年 7月23日	石川郡白峰村大杉谷	4♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 7月24日	小松市遊泉寺	1♂目撃	富沢 章
2000年 7月27日	輪島市高洲山	2♀目撃	日吉芳朗
2000年 7月29日	石川郡白峰村大杉谷	2♀8卵目撃	嵯峨井淳郎
2000年 7月30日	鳳至郡柳田村大箱	1♂目撃	日吉芳朗
2000年 8月10日	加賀市塩屋海岸	6♂1♀目撃	松井正人
2000年 8月11日	金沢市大豆田犀川河原	1♀目撃	小幡英典
2000年 8月11日	小松市大杉谷	6♂7♀	石畑正夫
2000年 8月14日	輪島市気勝山	1♂採集	日吉宏朗
2000年 8月14日	輪島市気勝山	2♂採集1♂目撃	日吉芳朗
2000年 8月15日	輪島市気勝山	3♂採集1♂目撃	日吉宏朗
2000年 8月15日	輪島市気勝山	4♂採集3♂目撃	日吉芳朗
2000年 8月16日	石川郡河内村福岡	1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月16日	石川郡白峰村大杉谷	終令幼虫1幼目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月16日	江沼郡山中町刈安山	2♂目撃	松井正人
2000年 8月16日	金沢市額谷	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月16日	石川郡鶴来町白山	1♂採集5♂2♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月16日	石川郡鶴来町八幡	3♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月16日	輪島市気勝山	1♂目撃	日吉芳朗
2000年 8月17日	金沢市松島	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月18日	金沢市示野	3♂目撃	嵯峨井裕子
2000年 8月18日	輪島市気勝山	1♂採集1♂目撃	日吉芳朗
2000年 8月20日	能美郡辰口町県営放牧場	1♂3♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月20日	能美郡辰口町七ツ滝	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月20日	能美郡辰口町灯台笹	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月20日	金沢市額谷	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月20日	金沢市額谷	6♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月20日	金沢市額谷4丁目	1♂目撃	嵯峨井淳郎

記録年月日	記録場所	記録数	記録者
2000年 8月20日	金沢市夕日寺	1♀目撃	北川章夫
2000年 8月20日	小松市大杉本	1♀目撃	富沢 章
2000年 8月21日	金沢市大手	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月22日	輪島市気勝山	2♂採集1♂2♀目撃	日吉南賀子
2000年 8月22日	輪島市気勝山	2♂採集4♂1♀目撃	日吉芳朗
2000年 8月23日	金沢市野町3丁目	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 8月23日	輪島市気勝山	3♂1♀目撃	日吉南賀子
2000年 8月23日	輪島市気勝山	1♀採集	日吉芳朗
2000年 8月24日	小松市上小松	1♀目撃	矢田新平
2000年 8月24日	輪島市気勝山	1♂目撃	日吉南賀子
2000年 8月26日	金沢市小原	多数♂2♀目撃	生田省悟
2000年 8月27日	金沢市堂	1♀	生田省悟
2000年 8月27日	輪島市気勝山	1♂採集	日吉宏朗
2000年 8月27日	輪島市気勝山	1♂採集	日吉芳朗
2000年 8月28日	金沢市額谷	♂多数目撃	嵯峨井裕子
2000年 8月29日	輪島市気勝山	2♂目撃	日吉宏朗
2000年 8月29日	輪島市気勝山	2♂目撃	日吉芳朗
2000年 8月30日	輪島市宝立山	1♂採集	日吉宏朗
2000年 9月 1日	金沢市額谷	1♀2令幼虫1幼目撃	嵯峨井淳郎
2000年 9月 1日	石川郡鶴来町白山	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 9月 1日	石川郡鶴来町八幡	4♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 9月 2日	金沢市額谷	1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年 9月 3日	羽咋郡押水町宝達山	1♂目撃	松井正人
2000年 9月 3日	輪島市高洲山	1♂採集	日吉芳朗
2000年 9月 4日	小松市上小松	幼虫目撃	矢田新平
2000年 9月 5日	七尾市城山公園	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年 9月 7日	輪島市気勝山	1♂目撃	日吉南賀子
2000年 9月 7日	輪島市気勝山	1♂採集1♂目撃	日吉芳朗
2000年 9月15日	石川郡尾口村新岩間温泉	1♂	生田省悟
2000年 9月15日	羽咋郡押水町宝達山	1♂目撃	松井正人
2000年 9月15日	小松市上小松	1♀目撃	矢田新平
2000年 9月15日	小松市大杉下	1♂2♀目撃	富沢 章
2000年 9月20日	金沢市幸	1♀目撃	指田春喜
2000年 9月21日	石川郡鶴来町八幡	1♂目撃	富沢 章
2000年 9月25日	小松市波佐羅	♂♀多数目撃	高坂 俊之
2000年 9月28日	金沢市額谷	♂大多数目撃	嵯峨井裕子
2000年 9月29日	小松市上小松	幼虫目撃	矢田新平
2000年 9月30日	金沢市石引	1♀目撃	澤田 博
2000年10月 1日	羽咋郡押水町宝達山	1♂目撃	松井正人
2000年10月 2日	鳳至郡門前町広岡	1♂目撃	日吉宏朗
2000年10月 3日	石川郡鶴来町八幡	1♂目撃	富沢 章
2000年10月 5日	金沢市額新保	6♂目撃	松井正人
2000年10月 5日	金沢市額谷	4♂目撃	嵯峨井裕子
2000年10月 5日	金沢市馬替2丁目	♂多数目撃	嵯峨井裕子
2000年10月 6日	金沢市武蔵辻	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	石川郡野々市町中林1丁目	20♂目撃	嵯峨井淳郎

記録年月日	記録場所	記録数	記録者
2000年10月 7日	石川郡野々市町末松2丁目	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	羽咋郡押水町宝達山	1♂目撃	松井正人
2000年10月 7日	金沢市額乙丸	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	金沢市額新	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	金沢市額谷	3♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	金沢市馬替3丁目	9♂4♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	石川郡鶴来町月橋	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	石川郡鶴来町白山	24♂3♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 7日	石川郡鶴来町八幡	8♂2♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月 8日	金沢市キゴ山	1♂目撃	澤田 博
2000年10月 9日	金沢市額谷3丁目	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月10日	金沢市笠舞	1♂目撃	小幡英典
2000年10月11日	金沢市長田	1♀目撃	松井正人
2000年10月15日	小松市月津	1♀目撃	矢田新平
2000年10月16日	金沢市大額	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月16日	石川郡鶴来町白山	5♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月16日	石川郡鶴来町八幡	2♂2♀採集9♂2♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月17日	金沢市光が丘	2♂目撃	井村正行
2000年10月21日	金沢市額谷	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月22日	鹿島郡鹿島町久江川橋	1♂目撃	松井正人
2000年10月22日	鹿島郡鹿島町藤井	2♂1♀目撃	松井正人
2000年10月22日	河北郡宇ノ気町横山	1♂目撃	松井正人
2000年10月22日	羽咋郡押水町御館	1♂目撃	松井正人
2000年10月22日	金沢市額谷	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月22日	金沢市大額	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月22日	金沢市本多	2♂1♀目撃	日吉宏朗
2000年10月22日	石川郡鶴来町白山	5♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月22日	石川郡鶴来町八幡	27♂5♀多数卵目撃	嵯峨井淳郎
2000年10月24日	金沢市旭	1♂目撃	小幡英典
2000年11月 3日	石川郡吉野谷村下吉野	1♀目撃	矢田新平
2000年11月 3日	加賀市塩屋海岸	2♀採集12♂5♀目撃	松井正人
2000年11月 3日	加賀市瀬越	1♀数卵目撃	松井正人
2000年11月 3日	金沢市大額	1♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年11月 3日	石川郡鶴来町白山	5♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年11月 3日	石川郡鶴来町八幡	40♂11♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年11月 4日	石川郡鶴来町白山	7♂2♀目撃	嵯峨井淳郎
2000年11月 4日	石川郡鶴来町八幡	多数目撃確認	嵯峨井淳郎
2000年11月 4日	輪島市気勝山	1♂採集2♂2♀目撃	日吉芳朗・南賀子
2000年11月 5日	輪島市気勝山	1♂採集1♀目撃	日吉芳朗・南賀子
2000年11月25日	加賀市塩屋海岸	1♂1♀目撃	松井正人
2000年11月25日	石川郡鶴来町八幡	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年11月26日	石川郡鶴来町八幡	2♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年12月 2日	石川郡鶴来町八幡	4♂目撃	嵯峨井淳郎
2000年12月 9日	石川郡鶴来町八幡	1♂採集2♂1♀目撃	嵯峨井淳郎

見上げればナガサキアゲハ

頭上を横切る黒い影、見上げれば後翅に白い模様があり尾状突起がない。最近では、若狭辺りでも観察されているが、こちらの影には尾状突起がある。何時になつたら突起のないナガサキが、頭上を横切るのだろうか。

カラフトセセリは何処から来たか

一九九九年に北海道で初記録されたカラフトセセリ、もともと道内に生息していたのか、自力で飛来したのか、それとも人為的に持ち込まれたのか、謎を探るため各地のカラフトセセリの遺伝子が調べられ、日本産は米国産に一番近かったとか。これって白水先生が言ったとおり、競走馬の飼料にくつついて持ち込まれたということですね。

二〇〇一 船倉島調査計画

アサギマダラの渡り調査で、今年も船倉島の調査を行うが、アサギだけでは丸一日

は潰せない。ついでにいろいろ調べる予定なので、要望があればお知らせ願いたい。

愛用品の移り変わり

【展翅ピン】展翅を始めた頃は、虫ピンを使っていたが、太くて展翅板に刺さりにくかった。すぐにまち針に代え、まち針時代が続いたが、志賀の無頭ピン、更には有頭ピンへと進化した。

【展翅板】最初はデパートで買った超変形サイズを使っていたが、すぐに足らなくなり、段ボールを重ねた自家製で間に合わせていた。そのうち志賀の平板を使いだし、平板時代が続いたが、年と共に傾斜板に代わり、現在は傾斜板だけを使っている。

【展翅テープ】硫酸紙を使っているが、これは全く進化していない。中学だったか高校の頃に紙屋で切ってもらったが、三十年以上経った今でも、その時のものを使っている。でかい包丁で切ってくれたおじいさんは元気だろうか。

蝶談会細沼旅行案内所書

月に数回の出張をこなす細沼氏、移動スケジュールや宿の手配は慣れたもので、氏に任せておけば、虫心がわかるだけに下手な旅行社よりも有利な遠出が出る。今年も、佐渡や粟島のツアーを計画してもらおうとするか。

ホームページを立ち上げる

帰国が待てない久慈氏は、ニューヨークから「私の好きな蝶たち」を立ち上げた。採り貯めた北米の蝶の写真をメインに、今後は日本の蝶、アフリカの蝶と発展する予定。また、立ち上がったばかりで、画面は日々追加されている。

ムラサキシジミは見つかるか

昨年は、これまでで最もたくさん見つかったムラサキシジミが観察され、今年は越冬成虫が多そう。越冬成虫の見頃は、ギフチョウと同じ桜の頃で、林縁の南側など陽当たりの良いところがポイント。

帰国は当然アラスカ経由

久慈氏の帰国予定は六月下旬。その頃のアラスカはウスバキが乱舞しているとかで、楽しみながら帰ってくるが、これは偶然の一致だろうか。

例会の記録

二月八日(木)城南管工一階にて八時から開催。

今回は、最近盛り上がりを見せているアサギマダラの渡り調査について、松井氏が報告。全国のホットな地域や、県内の現状、更には秋の移動ルートの子予想までと話は広がった。

その他の話題では、五島で下痢、久慈氏はギフチョウに間に合わない、五月の連休は何処行こう、軟化展翅とアロソナルフアなどなど。また、生きたカブリモドキを含め、大量の甲虫標本がばらまかれた。

参加は、大脇、井村、吉村、中西、松井、指田、山岸、西原の八人。

【表紙デザイン…小幡英典】

會員の動き・しゃべの動き

一月十九日駅前で新年会
大雪に見舞われた金沢は、
十五、十六、十七日と交通網
はズタズタ。十八日から徐々
に回復したものの、遠方の会
員は参加できなかった。それ
でも、輪島から日吉さん親子
が参加し、あつあつの鍋をつ
つきながらホットな話題に花
が咲いた。参加は、十三人。

昆虫館がパラダイスに

鶴来はすっぽり雪の中であ
も、昆虫館ではオオゴマダラ
やカバタテハが飛びまわって
いる。この昆虫館でメガネア
ゲハやモルフォが飛びまわっ
たら、それこそパラダイス。
外国産を飛ばすのは、法的に
難しいが、沖縄県の東南植物
楽園では、二ヶ月程の期間に
十一種四百十五頭のきらびや
かな外国産が飛んだ。

作った標本二〇〇〇頭
ニューヨークに渡って二年
の歳月が流れた久慈氏、良く
働き良く採るをモットーに、
作った標本が一六〇種二〇〇
〇頭に達したとか。指田氏が
一度遊びに行ってるが、氏を
もしのぐのめり込みようで、
マイホームパパは渡米してか
ら豹変していた。

新種発見と初記録

イムナダやウエダオルムな
ど、最近になっても県内で新
種は発見されているが、こん
な機会は滅多にない。それよ
りも県単位、市町村単位の初
記録は、チャンスがいっぱい。
そろそろ行き詰まりを感じ、
何をしようかと迷っているあ
なた、新世紀は、二十世紀の
取りこぼしに挑戦しよう。

虫御殿の完成は近い

いつの日には虫御殿と、
虫三味の部屋や家を持つこと
にあこがれていないだろう
か。この程、新居に引越した
井村会長、旧居を虫御殿に
改造中とか。新居の住所は、
金沢市湊一丁目一二八

岐阜県内蝶類採集調査記録集

地道なデータの集積を目標
としている岐阜県昆虫同好会
は、一九九五年の第三集に続
き、第四集を発行した。市町
村別に記録の有無と最新の報
告文献がわかる「市町村別記
録表」と、最近の記録を集め
た「記録集」からなっている。

サクラの開花予想は四月六日

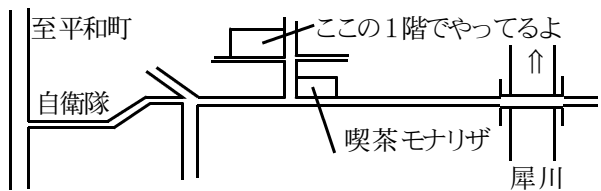
三月一日に開花予想が発表
されたが、これからギフチヨ
ウの初飛を予想すると、今年
は三月二十九日頃になる。か
つては桜よりもギフは十日程
早かったが、金沢気象台の標
準木が変わってからは、八日
程に縮まった。

翔 149号

Tobu 2001年4月1日発行
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>
金沢市大場町東871-15 松井方
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (149号)

松井正人：2000年石川県のツマグロヒョウモン概要	1
日吉芳朗：アサギマダラを求めて輪島市舳倉島をおとずれる	3
日吉芳朗・日吉南賀子：石川県輪島市での1999年の蝶採集記録から	5
矢田新平：ツマグロヒョウモンの寄生率と蛹期	9
嵯峨井淳郎：白峰村三ツ谷で白化したキベリタテハを採集	9
編 集 部：2000年石川県のツマグロヒョウモン記録	10
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	14